



公益社団法人 秋田県理学療法士会
Akita Physical Therapy Association NEWS

Partner

Vol.208
2023 Spring

広がれ 秋田県理学療法士会員、そして地域との輪

第27回秋田学会開催直前インタビュー

PTの街育

秋田県理学療法士会と災害支援

研修会・セミナー案内

会長のおゆみ／思い邪無し

発行:公益社団法人 秋田県理学療法士会
会長:菅原 慶勇 責任編集:佐々木杏奈 印刷:(株)秋田情報プリント
事務局:〒010-0921 秋田市大町1丁目2-40
TEL・FAX 018-867-1804 E-mail akitapt-home@ptakita.org
ホームページ <https://www.ptakita.org>

／ 令和5年6月17日(土) 開催 ／

第27回秋田理学療法士学会

参加登録開始



学会長
菅原 慶勇氏
市立秋田総合病院

実行委員長
川越 厚良氏
市立秋田総合病院

呼吸リハビリテーションを科学する ーエビデンスに基づいた理学療法計画ー

第27回秋田理学療法士学会の参加登録が始まりました。そこで今回は、学会長を務める市立秋田総合病院の菅原慶勇氏、実行委員長を務める川越厚良氏に6月に迫った学会について伺いました。

菅原 まず本学会のテーマは「呼吸リハビリテーションを科学するーエビデンスに基づいた理学療法計画ー」です。今回の学会では、5つのアピールポイントを用意しました。1つ目が「呼吸リハビリテーションを1日で網羅する企画」、2つ目が「初のハイブリット開催」、3つ目が「参加費を安く設定」、4つ目が「多職種の参加受付」、そして5つ目が「後期研修に該当する症例報告セッションの導入」です。新しいチャレンジ尽くめの秋田学会になっているので、運営としては不安もありますが、今までにない学会になるだろうと自負しています。

—— 本学会はセミナーが豊富ですね。見どころを教えてください。

菅原 何と言っても、本学会のアピールポイント①である「呼吸リハビリテーションを1日で網羅する企画」ですね。呼吸器疾患は、すべての疾患に関わってきます。それを深掘りして一日で学べるよう企画しました。実行委員長である川越先生から詳細を説明してもらいましょう。

川越 特別講演は長崎大学の神津玲先生をお呼びしました。神津先生は呼吸リハビリテーション・呼吸理学療法のご発展に日本、世界でご活躍されている先生です。科学的な見地からわかりやすく解説していただきます。学会長は神津先生との付き合いも長いですね。

菅原 非常にアカデミックな先生です。物腰が柔らかくてとても尊敬できる方です。

モーニングセミナー

「胸部レントゲン写真の診方」

秋田大学医学部附属病院

大倉 和貴 氏

特別講演

「呼吸理学療法を科学する」

長崎大学大学院理学療法学分野 教授

神津 玲 氏

ワンポイントランチョンレクチャー

「呼吸器疾患を知る」

① 呼吸器疾患の基礎知識

岩倉 正浩 氏

② 呼吸器疾患における栄養障害

菅原 慶勇 氏

③ 呼吸器疾患における身体活動低下

川越 厚良 氏

④ 循環器疾患における呼吸障害

加賀屋勇気 氏

⑤ 運動器疾患における呼吸障害

柴田 和幸 氏

⑥ 脳血管疾患における呼吸障害

照井 佳乃 氏

教育講演

「明日からの臨床に役立つ！

特(得)ダネセミナー」

運動器 腰部障がい

神経 運動学習における
フィードバックの益と害

循環器 大動脈弁狭窄症と
経カテーテル大動脈弁留置術

老年期 Let's catch up サルコペニア

スポパラ 走動作の基本的な考え方

川越 モーニングセミナーはリハビリテーションスタッフも読影することが求められる呼吸器の画像所見をどのように把握するか、秋田大学医学部附属病院の大倉和貴先生からご講演いただきます。

ワンポイントランチョンレクチャーは他領域の視点からみる呼吸障害について、その分野でご活躍されている先生方よりポイントを絞ってご講義いただきます。呼吸という局所的なテーマに見えますが、実際は多くの領域、また急性期～維持期に跨る問題点となりえます。秋田県内の様々施設にお勤めの先生方にもご参考になる企画になると思っています。ランチョンセミナーですから、気軽に聞いてほしいです。

毎年恒例の理学療法研究班の教育講演でも、それぞれの専門領域の先生方にご講義をお願いしています。この企画でも多分野から大変有益な情報を学べる、魅力的なセミナーになっていると思っています。

—— 各領域から幅広く知識を得られる有意義な学会になりそうですね。

—— 本学会は秋田学会では初となる現地・Webのハイブリット開催になりますね。

菅原 そうなんです。秋田県は南北に長い土地柄や、会員数の増加などにより、どうしても学会が中央地区開催になりやすく不公平感があります。そこで、コロナ禍で学んだWeb学会の手法を利用しない手はないと考えました。今回の学会を第一歩として、ハイブリット開催を定着させることで、より多くの方に学会を体験していただきたいですね。

川越 オンライン参加のメリットもあるため、本学会が礎になればと思っています。

—— 今学会の参加者の目標人数は？

菅原 150…いや！ 200人来てくれると嬉しいです！

川越 これはまだ未定ですが、一部ながらオンデマンド配信も検討中です。ただあくまで参加者限定ですので、まずはぜひとも参加登録をお願いします！



ハイブリット開催に
することで色々な
可能性が広がると
考えています

—— コロナ禍になって3年、現地参加したことのない世代もいると思います。

菅原 コロナ禍で対面の秋田学会に参加できなかった若手会員に、一人でも多く参加してもらえよう会費を安く設定しました。ハイブリット開催を定着させるためにも、ハイブリット開催を理由に、これまで通りの1000円から変えたくありませんでした。

また、日本理学療法士協会の生涯学習システムにおける後期研修で必要となる単位をとれるように症例検討セッションを設けました。聴講のみでも単位取得となるため、どんどん参加して単位を取ってほしいと思っています。

そして、リハビリテーション専門職協議会を通して、PTに限らずOT・STなど多職種にも参加の呼びかけを行いました。

川越 積極的に間口を広めた開催は初めてですね。

—— 気になっているのですが… 本学会でのWeb参加者は顔出ししなくても良いのですか？

川越 Zoomウェビナーを使用するため、Web上では顔出ししなくても参加可能です。(システム上顔出し出来ない) 気軽に参加することが可能です。

—— 子育てや介護等家庭の事情などで顔出しができない方も参加しやすいですね。

—— ここ数年でWeb学会の良さも感じていますが、改めて現地開催のメリット、感じてほしい点を教えてください。

菅原 他の先生と直接相談、ディスカッションができることがメリットだと感じています。オンラインでは質問も限られてしまう印象があります。ハイブリット開催にすることで色々な可能性が広がると考えています。

川越 学会参加者同士の交流が図られることが現地開催のメリットと思っています。会員同士の団結力が高められたらと期待しています。



本学会が
礎になればと
思っています

会場 ▶ 秋田大学大学院医学系研究棟6講義室
(総5講義室にて症例報告セッション)
+ Web (オンライン会議システムZoom)

参加費 ▶ 県士会員 1,000円 / 非会員 2,000円 / 学生 無料

会員の場合 参加登録に加え各セミナーの聴講により、各コードのポイントも付与されます!!

- ① 学会の参加登録(区分1-1 プロフェッショナルリズム) 8ポイント(8点)
- ② モーニングセミナー(区分3-39 画像評価) 1ポイント(1点)
- ③ ワンポイントランチョンレクチャー(区分11-131 慢性疾患-複合疾患の管理) 1ポイント(1点)
- ④ 特別講演(区分8-100 呼吸理学療法) 1.5ポイント(1.5点)
- ⑤ 教育講演(区分4-50 基本的な理学療法治療技術) 1ポイント(1点)

参加登録締め切り日 令和5年6月12日(月)

皆様奮ってご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

多職種連携の“鍵”

「ケアメイトのしろ」に迫る

本連載は、県北で訪問リハをベースに地域と密着した活動を続けていらっしゃる齊藤 進先生（能代訪問看護ステーション）をモデルケースに、地域理学療法について学び、地域で暮らす人たちのために、私たちにできることを考えていこう！というコーナーです。

第2回は、齊藤先生も中心となって立ち上げた事例検討会「ケアメイトのしろ」について紹介して頂きます。



“介護・医療・暮らし”をつなぐ多職種連携の場



ケアメイトのしろとは？

多職種で構成される事例検討会の活動です。医師を筆頭とした有志数名で発足し、「介護と医療と暮らしをつなぐ」をコンセプトに2018年から活動を開始しました。秋田市で開催されている事例検討会「At Home～介護と医療と在宅をつなぐ会～」を参考に創り上げました。



ケアメイトのメンバーは？

医師、薬剤師、ケアマネジャー、施設管理者・経営者、自治体職員、理学療法士、言語聴覚士、歯科衛生士、社会福祉士、介護福祉士の計14名で活動中です。

「やれる人が、やれる時に、やれる事を」というのをモットーに、スタッフそれぞれの好きなことや趣味、特技を生かして動いています。

メンバーには、絵やデザインがうまい人や、写真を撮るのが好きな人、話をまとめるのに長けている人など様々いて、その特技を活かし、ファシリテータやグラフィックレコーダー、カメラマンなどを務めています。また、自治体の職員も在籍してくれているおかげで、会場準備やマイク、スクリーンなどの設備利用もスムーズに行えます。



事例検討の流れを紹介！

- ① **イントロダクション**
ファシリテータが事例提示者を紹介 事例検討会の目的と注意事項などを説明する
- ② **事例の提示**
事例提示者が事例の概要を説明 この時点ではなるべく客観的な情報を話すことを重視しています
- ③ **事例の共有**
参加者が事例の全体像を十分にイメージするための質問タイムです
- ④ **論点の明確化**
参加者とともに検討したい内容を話します ここでは提示者が考えている事例への主観的な想いについても述べてもらいます
- ⑤ **論点の検討と発表**
グループワークの時間 参加者は提示された論点を基に 多職種による様々な視点で④で決めた内容について話し合います 事例提示者やファシリテータが各テーブルを回り質問にも答えます 最後に各テーブルで検討したことを発表し、共有します
- ⑥ **方向性の検討と振り返り**
最後に事例提示者が 全体を振り返っての感想と方向性を述べます 事例提示者の中で心境の変化や気づきがあれば、それも述べてもらいます

事例提示者と参加者との間のリフレクションがポイントです。**事例への正解はなく、自分の仕事の仕方、考え方を振り返り、見つめ直すことを重視しています。** 学術ではないので、知識提供を目的にはしていません！

事例検討会のあとには参加者同士で交流を深めているところをよく見ます。このつながりを作ることこそが事例検討会の一番の収穫といっても過言ではありません！



興味深いテーマばかりの事例検討！



これまで開催してきた事例検討のテーマと事例提示者の職種を一部ですが公開します。どれもとても印象的なネーミングで興味をそそられますよね。また、ご覧の通り、救急救命士や自治体職員など、様々な職種の皆さんが事例提示をしてくださっています。今後は専門職種に限らず、自治会や商店街の方々、消防士などからも事例提示をいただけないか考えています。

事例検討テーマ	事例提示者（職種）
探し物はなんですか	介護支援専門員
解放されたい	薬剤師
空浮かぶ雲に定型なし『バッカじゃないの』に込められた思い	言語聴覚士
帰りたい、けど、帰れない!?	理学療法士
誰とどう繋がろう・・・心の迷い	鍼灸あん摩マッサージ指圧師
延命治療を希望しない方の救急搬送を考える	救急救命士
強引 My Way	自治体職員

医療専門職以外も含めて、様々な方が集まるからこそ、どの職種の方にも理解できるような説明の仕方、議論の進め方がとても大切です。そのために右に示した「7つのルール」がケアメイトのしるにはあります。このルールのもとで、**事例の内容を正すのではなく、多方面から考えを出し合って、事例提示者が新たな気づきを得ることを目指しています。**この7つのルールを守って頂ける方は、どなたでも参加可能です！

奇数月の第二金曜19時から開催しているので興味のある方はぜひご参加ください！



事例検討7つのルール

1. **秘密を守る**（事例提示者や事例のプライバシーを守る）
2. **気づきをもたらす**（事例提示者が自らの気持ちや課題に気づけるようにする）
3. **押し付けない**（価値観や感情を押しつけあわない）
4. **個別化する**（あくまで事例提示者のケースと捉える。一般論で片づけない）
5. **あるがままを受け入れる**（たとえ参加者の言動が間違っただのもであっても、その裏側にある背景や感情については受け止める）
6. **決して裁かない**（事例提示者や他者の意見を裁かない）
7. **全員参加**（なるべく全員が意見を述べる）



ご覧のように、たくさんの方々に参加して頂いており、とても有意義な会になっています。こうして生まれる **地域単位の結束**が、私たちが大切にしている「**街育（まちづくり）**」です！



秋田県理学療法士会 と 災害支援 ⑤

災害リハビリテーションに参加したい

～ 理学療法士に求められる知識と技術 その② ～

災害医療派遣検討委員会 委員 鈴木 綱太

1 災害時の理学療法に必要な知識



感染予防とフィジカルアセスメント、
内部疾患や合併症に対する知識の整理が必要

① 感染予防とフィジカルアセスメント

被災地では粉塵や汚染水、泥廃物などによる影響で公衆衛生の悪化が考えられます。避難所等の集団生活では昨今のCOVID-19に限らず、インフルエンザや感冒などの呼吸器感染症が流行することも懸念されます。常日頃から私たちも行っている、スタンダードプリコーション(標準予防策)を徹底しながら感染予防に努めることが前提になるかと思えます。

② 内部疾患や合併症に対する知識の整理

バイタルサインを中心としたフィジカルアセスメントの確認、呼吸器疾患や循環器疾患、糖尿病、脱水や起立性低血圧、DVTなどの合併症に対する知識の整理も必要です。医師や看護師とも連携し、リスク管理を行いながら介入する必要があります。

2 災害時の理学療法に必要な技術



二次的合併症予防、廃用症候群対応、
生活不活発対策、地域リハ活動をメインに活動

避難所での体操指導や地域リハ活動としての訪問リハビリなど、具体的な活動場面の違いはあるかもしれませんが、基本にあるのはみなさんが日々の臨床で行っている理学療法評価や運動療法を通して、二次的合併症や廃用症候群、生活不活発病予防につなげることだと思います。



見てみよう

① 日本理学療法士協会

- 「災害時に体力を落とさないためのリハビリ」としてパンフレットがあり、歩行レベルに合わせて立位運動や臥位での可動域運動などが紹介されています。



② COVID-19 関連から

- 秋田県作業療法士会の地域支援事業推進部
「生活不活発病を予防しましょう！」



- 甲斐リハビリテーションクリニックのPTによる「自宅でできる自主トレーニングの素材集を活用した実践例のご紹介」など、Web上でもわかりやすいパンフレットが載せられていますので参考にしてみたいと思います。



日本理学療法士協会サイト

終わりに

今回は災害リハ現場で、具体的にどのようなことを行うのかをイメージするためのマニュアルやパンフレット紹介をさせていただきました。現在、災害医療派遣検討員会では有事に備えて、「秋田県理学療法士会 災害対応活動マニュアル」の作成や安否確認の連絡ツール、災害支援スタッフ募集の登録・連絡網整備方法等について検討を重ね、準備を進めているところです。私事ではありますが、理事の鈴木和也先生より引き継がせていただく形で当委員会に所属することになりましたが、委員会が正式に設置される2016年より前から秋田JRATの前身となる活動を当院院長の細川賀乃子医師が務めていたということを知り、これも何かの御縁かと思っています。微力ながら、私も委員の一人として知識と技術を深めていく所存です。今後は、災害リハについての研修会も企画予定ですので、ぜひみなさまのご参加をお待ちしております。



R5年度 秋田県理学療法士会 研修会

01

脳卒中片麻痺患者の歩行障害

日時 ▶ 令和5年5月13日(土)
 講師 ▶ 東北大学病院 関口 雄介 氏
 開催方法 ▶ Web 開催
 参加費 ▶ 会員1,500円
 非会員3,000円

02

呼気ガス分析からみた身体活動

日時 ▶ 令和5年8月5日(土)
 講師 ▶ 東北文化学園大学 高橋 一揮 氏
 開催方法 ▶ Web 開催
 参加費 ▶ 会員1,500円
 非会員3,000円

03

機能解剖学から見た

運動器疾患の理学療法

日時 ▶ 令和5年10月29日(日)
 講師 ▶ さとう整形外科 赤羽根 良和 氏
 開催方法 ▶ 現地開催
 参加費 ▶ 会員3,000円

04

理学療法士のライフ

ワークバランスを考える

日時 ▶ 令和6年1月25日(木)
 講師 ▶ NPO法人ReMind 河合 麻美 氏
 開催方法 ▶ Web 開催
 参加費 ▶ 会員1,000円
 非会員2,000円

新型コロナウイルス感染拡大後、当会では学習機会の増加およびWeb研修会普及を目的に参加費を無料としてまいりました。感染状況も落ち着きをみせ、来年度より対面による実技研修も予定しているため、研修部の事業はコロナ禍前の通り、受益者にご負担いただくスタイルに戻し若干の参加費を徴収することにいたしました。来年度に予定している研修会も、テーマを厳選しており大変有意義な内容ばかりです。

皆様奮ってご参加下さいますよう、お願い申し上げます。



専門領域研究班 セミナー案内

日時は準備の関係上、多少の前後があることもあります。☆は参加費500円の予定です。

運動器



- ① 令和5年7月26日(水)【下腿・足部の手術】☆
- ② 令和5年11月28日(火)【未定】

神経



- ① 令和5年8月9日(水)【病期別の装具療法】
- ② 令和6年1月31日(水)【医師による評価と治療】☆

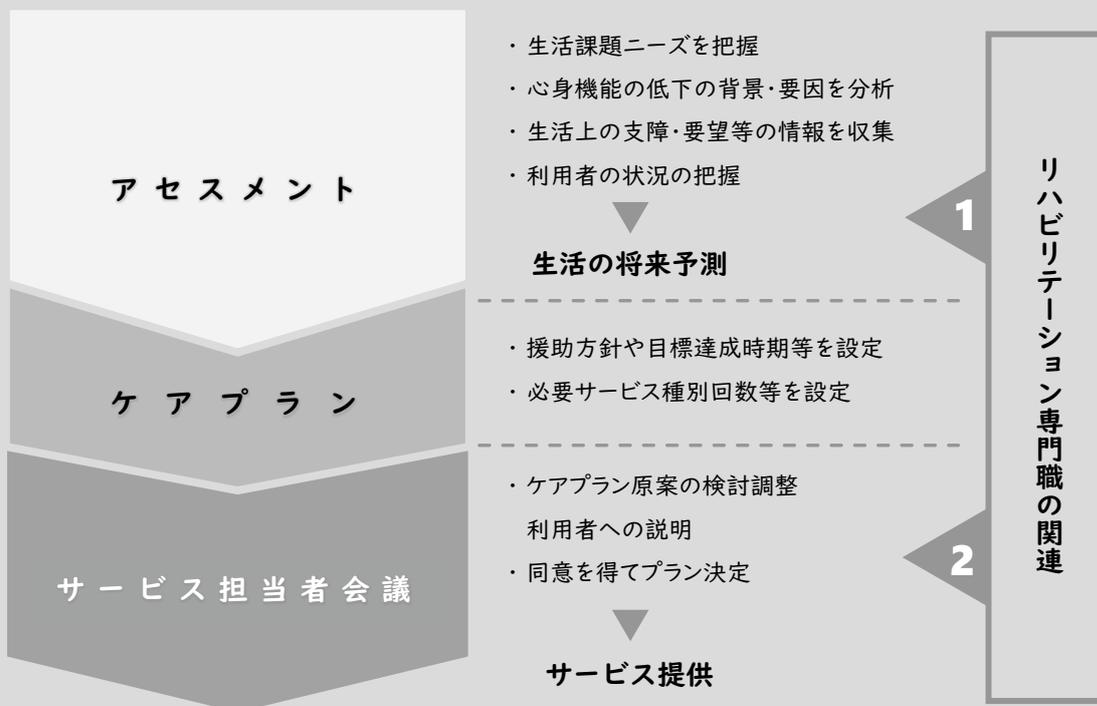
中央ブロック活動部より

今回は「秋田市長寿福祉課」との協力で実施している事業を2つ紹介します。

介護予防ケアマネジメント支援事業

リハビリテーション専門職が、要支援認定者の家庭訪問に同行して日常生活の状況や生活環境、その他をアセスメント（評価）します。

アセスメント結果について、主任介護支援専門員等に助言します。また、後日サービス担当者会議にも出席し、介護予防サービス・支援計画についての助言および情報提供を行います。ケアマネジメントの質の向上を目指します。



循環器 

- ① 令和5年8月23日(水)【運動負荷の考え方】
- ② 令和6年1月17日(水)【リスク管理の考え方】

呼吸 

- ① 令和5年6月1日(火)【研究法】☆
- ② 令和5年10月3日(火)【嚥下と呼吸】☆

老年期 

- ① 令和5年6月27日(火)【筋力評価と介入戦略】
- ② 令和5年12月13日(水)【フレイル(仮)】

スポパラ 

- ① 令和5年6月9日(金)【ACL損傷の手術】☆
- ② 令和5年11月17日(金)【ACL損傷の理学療法】

介護予防セルフケア推進事業

秋田市内の住民が運営する趣味活動等の通いの場へ医療専門職を派遣します。
 参加者が、運動・口腔・栄養について、介護予防に効果的なセルフケアに関する知識等を修得することを目指します。
 ※医療専門職には、リハビリテーション専門職の他、歯科医師、管理栄養士などが含まれます。

地域サロン代表者様へ **無料** 令和4年4月

令和4年度 秋田市のフレイル予防事業(ご案内)

対象：地域のサロン等に集う、おおむね65歳以上の方

➡ 加齢とともに、体や心のはたらき、社会的なつながりが弱くなった状態

健康寿命を延ばすためには、日頃のフレイル予防が大切です。

フレイル予防出張講座

フレイルやオーラルフレイル(お口の虚弱)についての講話、お口の体操・簡易フレイルチェック・食事チェック・健康相談等を行います!

時期：6月～翌年3月 講師：歯科衛生士 管理栄養士 保健師・看護師

回数：1団体につき3回 時間：1回約90分

秋田市市民生活部 特定健診課 高齢者保健事業担当 ☎ 018-888-5636

上記以外に、こんなフレイル予防事業もあります!いずれも平日開催。詳しくは担当課にお問い合わせ下さい。(平日8:30~17:15)

フレイル予防出張講座 申込用紙

団体名・希望日時等を記載し、希望日の1か月前まで特定健診課にFAXでお申し込み下さい。2回目以降の日は未定でも構いません。(その場合、未定に○を付けて下さい。)後日、担当者からご連絡いたします。

申込日 令和 年 月 日

団体名	(参加人数 約 名)		
会場名(所在地)	(所在地 :)		
申込者	氏名		
	住所		
	電話		
	希望日時 (回数については相談に応じます。)		
日時(1回目)	令和 年 月 日() 時 分~ 時 分	未定	
日時(2回目)	令和 年 月 日() 時 分~ 時 分		
日時(3回目)	令和 年 月 日() 時 分~ 時 分		
特記			

【お申し込み先】

秋田市市民生活部特定健診課 高齢者保健事業担当
 ☎ 018-888-5636 FAX 018-888-5637

令和3年度フレイル予防出張講座の様子です。約200の方にご参加いただきました!



フレイルチェック

フレイルサポーター(※)とともに質問票や測定機器を使って、体と心の状態を知ろう!

(※)市が養成した市民サポーター

秋田市保健所 保健予防課 健康づくり担当 ☎ 018-883-1178

介護予防セルフケア推進事業

リハビリテーション専門職等による6回の講座を受け、フレイル予防を今後の活動に取り入れよう!(秋頃開始)

秋田市福祉保健部 長寿福祉課 在宅サービス担当 ☎ 018-888-5668

※秋田市福祉保健部 長寿福祉課より

2023年度も、今回紹介した事業は継続される予定です。また、地域ケア会議への参加も要請されており、地域活動への参加依頼が増えてくることが予想されます。一人でも多くの会員の皆様に活動へのご協力をお願いしたいと思います。

我こそは、という方々は是非、中央ブロック活動部 ジョーンズ(秋田リハビリテーション学院)までご連絡ください。

- 1.12 当会50周年記念事業会議(秋田市)
- 1.16 当会27回学会打ち合わせ(Web)
- 1.18 日本理学療法士協会士会支援事業意見交換会(Web)
- 1.18 専門領域研究班循環器グループ研修会(Web)
- 1.21 指定管理者初級研修会講師(Web)
- 1.21 領域別管理者研修会講師(Web)
- 1.21 令和4年度21世紀の医療を守る会総会(秋田市)
- 1.21 秋田県議会議員事務所訪問(秋田市)
- 1.22 秋田県第二回トレーナー派遣委員会(Web)
- 1.27 第二回秋田市在宅医療介護連携推進協議会(秋田市)
- 1.30 湯上市障害者自立支援審査会(湯上市)
- 1.30 日本理学療法士協会政策要望会議(Web)
- 2.2 当会50周年記念事業会議(Web)
- 2.4 緩和ケアPEACE研修会(秋田市)
- 2.12 日本理学療法士協会第三回Spiceフォーラム(Web)
- 2.18 田中まさし先生勉強会 in 東北(Web)
- 2.22 秋田県リハビリテーション専門職協議会臨時会議(Web)
- 2.25 北部ブロック研修会(Web)
- 2.25 理学療法の未来を語る会(Web)
- 2.28 50周年記念誌校正
- 3.1 当会第6回理事会(Web)
- 3.2 令和四年度第二回スポーツ医科学委員会(秋田市)
- 3.6 訪問歯科診療に関する意見交換(秋田市)



会長のあゆみ

1～3月会長活動記録

Cartoon by MomentCam

- 3.10 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会東北支部学術集会打ち合わせ(Web)
- 3.11～12 秋田県呼吸リハビリテーション懇話会研修会講師(Web)
- 3.13 「リハビリテーションを考える議員連盟」事務所様と懇談(秋田市)
- 3.13 秋田県医療審議会医療計画部会(秋田市)
- 3.15 秋田県リハビリテーション専門職協議会役員会(Web)
- 3.20 当会(仮称)災害情報管理部会議(Web)
- 3.22 高齢労働者の就労支援に関するモデル事業報告会(Web)
- 3.23 秋田県リハビリテーション専門職協議会第1回Webミーティング(Web)
- 3.23 秋田JRAT運営委員会(Web)
- 3.24 秋田県リハビリテーション専門職協議会第2回Webミーティング(Web)
- 3.27 湯上市障害者自立支援審査会(湯上市)
- 3.29 湯上市社会福祉協議会評議員会(湯上市)

よこしま 思い邪無し

— 会長の想いをつづる —

連載
コラム

5月8日、新型コロナウイルスの感染法上の分類が2類から5類へ引き下げられる。医療機関勤務としては、勤務先の感染対策がどのように変わるか関心が高い。すでに1月27日にはコンサートやスポーツ観戦は定員の100%まで入場できるようになったし、3月13日からマスク着用は原則個人の判断によるところとなった。医療機関や高齢者施設等従事者の勤務中のマスク着用は推奨となっている。季節性インフルエンザと同様の5類になることで、外出の自粛要請は無くなり、患者・濃厚接触者の行動制限は、自主的な対応に委ねられる。また、入国時の検査や隔離などの水際対策、在宅療養者の健康観察、入院措置・勧告は、法律上適応できない。確かに、主流であったオミクロン株BA.5の高齢者の重症化率(60歳未満0.01%、～70歳代0.26%、80歳以上1.86%)や致死率(60歳未満0.00%、～70歳代0.18%、80歳以上1.69%)は、季節性インフルエンザ(重症化率:0.03%、0.37%、2.17% 致死率:0.01%、0.19%、1.73%)より大方低くなった(厚労省アドバイザリーボード2022.12.21)。しかしながら、インフルエンザにはみられない「Long COVID」は無くなっていない。この点が非常に悩ましい。やはりプライベートでも気の抜けない場面が続きそうである。

菅原慶勇

思い邪無し：
「論語」より。人々の詩を詠む心について述べた一節。
嘘偽りのない純粹さの意。

ニュース編集班より

ParTner読者の皆様、いつもありがとうございます。広報部の佐々木です。208号の表紙は水仙です。水仙は「春を告げる花」と呼ばれているそうで、今号の表紙にぴったりですね。皆様のお手元にParTnerが渡る頃には見頃を迎えていると嬉しいです。

さて、新年度になりましたね。秋田学会ははじめ様々な行事が待ち構えていると思いますので、ニュースにしたい！してほしい！という記事掲載のご相談もお待ちしております。また、ニュースの表紙を飾る風景写真もお持ちの方がいらっしゃれば、是非お声がけください。次回ニュースの原稿締め切りは6月23日（金）です。宜しくお願いたします。

連絡・送付先：akita.ptnews@gmail.com

問い合わせ先：秋田県立循環器・脳脊髄センター 機能訓練部 佐々木杏奈

Tel：018-833-0115 Fax：018-833-2104

学校法人 コア学園 秋田リハビリテーション学院

厚生労働大臣指定・秋田県知事認可校



平成27年4月開校
秋田県初！
理学療法士養成専門学校

理学療法学科

4年課程

40名定員

〒010-0065 秋田市茨島一丁目4-80
TEL 018-865-0188 FAX 018-864-6137 URL <http://www.core-akita.ac.jp/arc/>

●応援します！医療と福祉を確かな技術で

有限会社 共栄メディカル

●総合医療機器 ●理化学器械 ●福祉用具レンタル ●介護用品 ●厨房設備機械 ●業務用洗濯機械

〒014-0102 秋田県大仙市四ッ屋字水木田33

〒010-0964 秋田市八橋鯉沼1-35 サニーハイツ102

TEL 0187-66-2123 (代)

FAX 0187-66-2139

☎ 0120-971-294

信頼の医療機器

株式会社 秋田医科器械店

代表取締役 池ヶ谷 敏之

本社 〒010-1423 秋田市仁井田字中谷地30-2

Tel.018-839-3551(代) Fax.018-839-3546

横手営業所 〒013-0064 横手市赤坂字大道向2-4

Tel.0182-32-8311(代) Fax.0182-32-8313

能代営業所 〒016-0014 能代市落合字上釜谷地189番

Tel.0185-52-0024(代) Fax.0185-54-7319

帝人ヘルスケア株式会社

東北支店 秋田営業所

秋田県秋田市大町3-4-1 NLP秋田ビル7階

(社)日本義肢協会
登録・東北119号

厚生労働省指定工場

義肢・装具・コルセット・車椅子・各種杖

株式会社 佐々木義肢製作所

代表取締役 佐々木 和憲

本社 〒980-0801 仙台市青葉区木町通二丁目3-3(木町通小学校前)
TEL (022) 274-1181(代) FAX (022) 274-1183
支店 〒010-0973 秋田市八橋本町二丁目7-1
TEL (018) 862-7204(代) FAX (018) 862-9347
〒036-8227 弘前市大字桔梗野二丁目16-12
TEL (0172) 33-1150(代) FAX (0172) 33-1153

一般社団法人日本義肢協会加盟・東北101号



株式会社 千秋義肢製作所

代表取締役 佐々木雅伸

義手・義足・装具・車椅子・リハビリ用品

秋田市新屋豊町1-22

TEL 018-823-3380 FAX 018-862-5126

<http://www.sensyu-gishi.co.jp>